

2022年2月13日 主日礼拝賛美歌

● 『讚美歌』 90番 (1節)

1. こども神の み国なれば あめつちみ歌を 歌い交わし
岩に木々に 空に海に たえなるみ業ぞ あらわれたる
アーメン



● 『讚美歌 21』 195番 (1節)

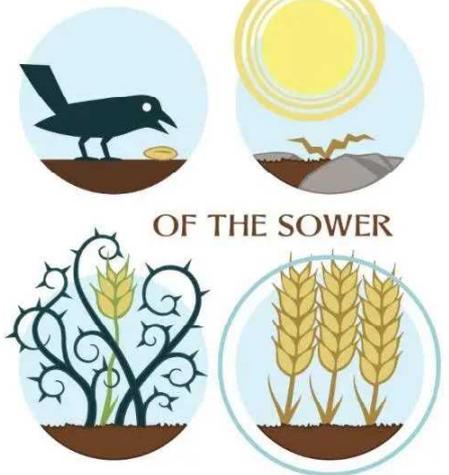
1. まかれた種 静かに落ち 芽を吹き
葉を出し みのりを結ぶよ
種が育つ 良い大地よ
アーメン



● 『讚美歌 21』 412番

1. 昔主イエスの 蒔きたまいし
いとも小さき 命の種
芽生え育ちて 地の果てまで
その枝を張る 樹(き)とはなりぬ
2. 歴史の流れ ふるきものを
帰らぬ過去へ 押しやる間に
主イエスの建てし 愛の国は
民より民へ ひろがり行く
3. 時代の風は 吹きたけりて
思想の波は 騒ぎたてど
全てのものを 越えて進む
主イエスの国は とわに栄えん
4. 父なる神よ 御名によりて
世界の民を 一つとなし
地の果てまでも 御国とする
約束を今 果たしたまえ アーメン

THE PARABLE



● 『讚美歌』 542番

1. 世をこぞりて ほめたたえよ
みさかえ尽きせぬ あまつ神を
アーメン

